

第8回「大学コンソーシアム岡山」運営委員会 議事要旨

- 日 時：平成19年4月24日（火）15時05分～16時25分
- 場 所：岡山大学一般教育棟D棟6階 大会議室
- 出席者：24／34
- 欠席者：岡山大学（梶原），岡山学院大学（平林），川崎医科大学（辻岡），吉備国際大学（村本・神岡），くらしき作陽大学（影山），山陽学園大学（松井），中国学園大学（飯田），岡山経済同友会（今西・運営委員1名空席）
- 陪席者：山陽新聞社（加藤事業局部長）
岡山県教育庁（児仁井室長・千葉総括副参事）
- 議 事：

木村委員長（岡山理科大学副学長）から開会挨拶後，社会人教育事業部リーダー交替の紹介があった（岡山商科大学・山口委員から大崎委員に交替）。委員から順次自己紹介があった後，前回議事要旨（案）の確認が行われ，原案どおり承認された。

○審議事項

1 平成19年度の運営について

委員長から，平成19年9月開催予定の代表者会議に20年度以降の体制案を諮る必要があるため，昨年度は隔月開催であったが開催回数を増やし，当面6月・7月は連続して開催する案が提案され，了承された。

2 事業部及び事務局体制について

委員長から，次期会長校がどこに決まるかにも左右されるが，20年度以降の事務局体制のあり方，また現在はリーダー・副リーダー・事務局に依存している事業部の担い方について，各大学に持ち帰り検討いただき，次回本委員会で実質的な議論を行いたい旨提案があり，了承された。

3 短大等の参画について

委員長から，短大等が「特別会員」としての入会を希望した場合，これを受け入れることについては代表者会議で承認されているので，「特別会員」に付与する権利義務及び事業への参画方法等について，各大学に持ち帰り検討いただき（特に短大併設大学は短大教職員の意見も確認），次回本委員会で実質的な議論を行いたい旨提案があり，了承された。

○報告事項

1 第3回代表者会議報告

委員長から，【資料2】に基づき以下のとおり3月6日に開催された「第3回代表者会議」の報告があった。

- ・大学教育事業部提案の「合同入試説明会」については反対意見があり，見直しを含めて引き続き検討することになった。会場確保の問題や実施時期・形式・対象を再検討する時間的な問題もあり，事実上平成19年

度は中止せざるを得ない。該当の予算案は承認されているので予算は留保することになるが、入試にこだわることなく別の形での実施を視野に入れ企画会議で検討していく予定である。

- ・平成19年度予算案については、引き続き会長校である岡山大学に事務所を設置する案が承認された。

関連してアドバイザーとして陪席している松畑副会長から、運営委員会で議論した内容については随時学長に報告し、意見があれば運営委員会の場で積極的に発言していただきたい旨要請があった。

2 各事業部報告

委員長の指名により、各事業部リーダー等から以下のとおり報告があった。

<大学教育事業部>

- ・単位互換について、前期受付期間が終了した。出願者数は速報値を見る限り昨年度と比較してそれほど増えていない。正式な数値は次回本委員会にて報告する予定。集中講義の比重増加や遠隔授業の導入が効果的と考える。
- ・合同入試説明会については委員長から報告があったとおりである。入試でなく別の形を検討したい。

<社会人教育事業部>【資料3】

- ・各大学のご協力により、「吉備創生カレッジ」を4月から開講することができた。
- ・前期は準備期間が短く、日程調整や広報体制において講師の方々にはご迷惑をおかけしたが、後期は【資料3】のスケジュール案により日程的に余裕をもって準備したい。
- ・後期開講科目を事務局から照会させていただくのでご協力願いたい。提供いただく科目の内容については、前期と全く同じ内容でも、続編でも別の新しい内容でも構わない。

<産学官連携事業部>

- ・コーディネート科目である「キャリア形成講座」及び「ちゅうぎん『金融知力』講座」を開講した。年度当初は受講希望者が少なかったため、再募集を行い一定の効果を得た。
- ・「まなびピア岡山2007」への出展については次回以降の本委員会で内容等をご説明したい。

3 平成19年度会費請求について

委員長の指名により、事務局から説明があった。

○その他

岡山県から、「岡山県生涯学習大学」及び「まなびピア岡山2007」について説明があった。

※次回開催予定は6月

以 上